

村井議員

5、建設土木行政について

①道路行政 遺跡保存について伺います。

瀬戸町地頭分の福山道路建設予定地で遺跡が出現し、調査が行われています。

この瀬戸町地頭分溝渕遺跡は、瀬戸町の丘陵緩斜面に立地し、弥生時代から古墳時代、中世に及ぶ集落遺跡です。

試掘調査では、弥生～古墳時代、中世の土師器や須恵器などとともに、竪穴住居跡なども確認されているとのことでした。

一帯は草戸千軒町遺跡と深い関連があるとされている中世荘園・長和荘の本拠地とされており、発掘調査による本格的解明が期待されます。

出土遺物からかなり長期にわたる遺跡の存在が窺えるとのことでした。

今後は、現地見学会を開催し、記録保存、写真や土器などの保存を行い、現地からは撤去する作業が行われるとのことでした。

福山市発展の礎となった草戸千軒町跡地は、河口堰建設のため、

水没しています。

今回の遺跡については、現地保存を行い、福山市発展の歴史を学ぶ場として活用すること。

また、遺跡を破壊する道路計画の撤回、及び変更を行うことを求めるものです。

ご所見をお示しく下さい。

答弁

次に、遺跡の保存についてであります。

福山道路建設に伴い確認された^{じとうぶみぞぶち}地頭分溝渕遺跡につきましては、事業者である国土交通省が、公益財団法人広島県教育事業団に委託され、本年5月から来年3月末の予定で発掘調査が実施されております。

発掘調査において検出された遺構や遺物の詳細な記録保存が行われており、重要な遺跡が発見された場合、関係機関との協議により、現地保存が必要かどうか等の検討がなされるとお聞きしております。

なお、福山道路は、本市が備後地域の中核都市として、持続的に発展するため、さらには、災害時の緊急輸送路としても不可欠な都市基盤であり、引き続き、関係者の理解と協力を得る中で、国と連携して事業を推進してまいります。

以上